

令和3年2月18日

仙台市立折立中学校保護者・地域の皆様

仙台市立折立中学校
校長 間山 裕康

令和2年度協働型学校評価の結果・分析について（御礼とお知らせ）

向春の候、保護者の皆様にはますます御健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃から本校の教育活動への御理解と御協力を頂き、厚く感謝申し上げます。

さて、令和2年度協働型学校評価アンケートへの御協力に重ねて感謝申し上げます。

つきましては、今年度の協働型学校評価の結果・分析についてお知らせいたします。

今後とも、保護者の皆様や地域の皆様と共に、子供たちのより良い成長を目指して教育活動に取り組む所存でございます。引き続き変わらぬ御支援を賜りますようお願い申し上げます。

記

【概要】

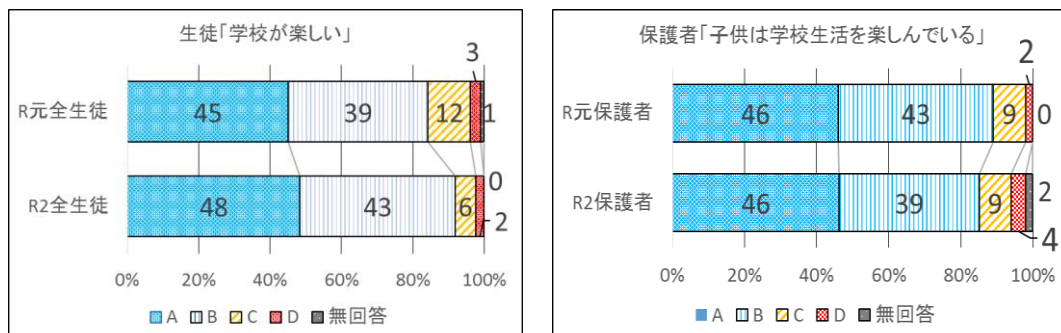
概ね肯定的な回答となりました。生徒「学校生活が楽しい。」、保護者「子供は、学校生活を楽しんでいる。」という項目については、肯定的な回答が、生徒も保護者も85%を超えました。新型コロナウイルス感染症の影響を受け、多くの行事が中止または内容が変更となりましたが、ほとんどの生徒が活動に前向きに取り組み、楽しみながら学びを深めていたことがうかがえます。

また、生徒「授業に主体的に取り組んでいる。」という項目については、85%と昨年度よりポイントが上昇しました。限られた期間の中でより集中して学習に取り組もうとする意識が高まりました。一方、保護者「子供は家庭学習に主体的に取り組んでいる。」が61%と、昨年度よりポイントが下回るという結果になり、保護者にとっての子供の学習に対する不安がうかがえます。

今後も一つ一つの教育活動の目的や経緯を、生徒、保護者、地域、教職員が皆で確認し、協力しながら、子供のより良い成長を目指していくことを大切にしていきたいと思えます。

【主な質問項目の結果】

（１）生徒「学校生活が楽しい。」、保護者「子供は、学校生活を楽しんでいる。」

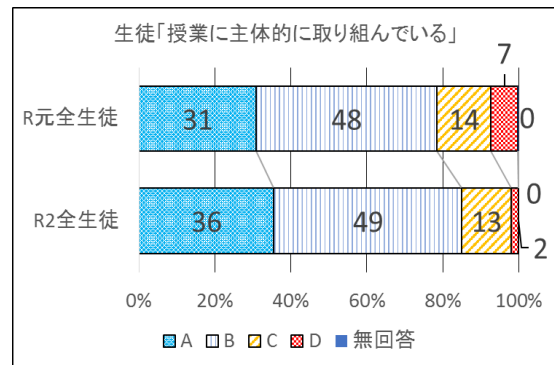


生徒が91%、保護者が85%と、昨年度より肯定的な回答が高い割合を占めた。

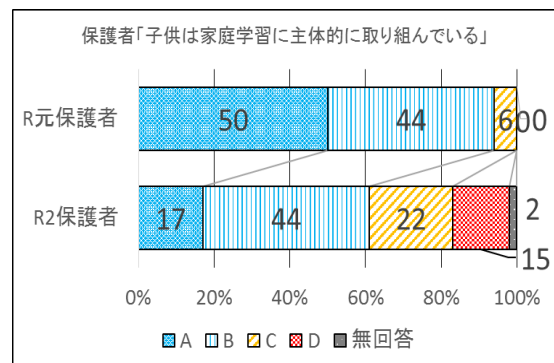
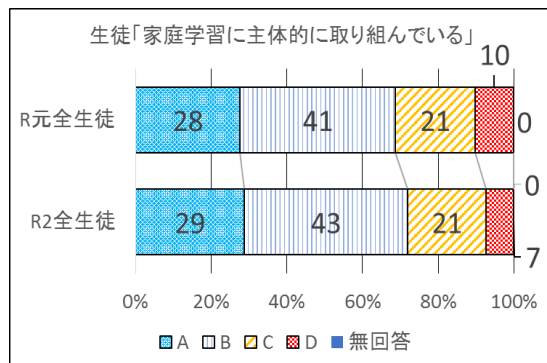
「授業に主体的に取り組んだ。」「考動議会や校外学習等での自己の成長を実感した。」という項目でも、肯定的な回答をしている生徒の割合が高かった。

(2) 生徒「授業に主体的に取り組んでいる。」

肯定的な回答が85%と、昨年度よりも上回った。一方保護者「子供は学力を向上させている。」が57%と、半分以上が肯定的な回答をしたものの、「そう思わない」という保護者の回答の割合は41%と同様に高い割合を示していた。



(3) 生徒「家庭学習に主体的に取り組んでいる。」保護者・地域「子供（折中生）は、家庭学習に主体的に取り組んでいる。」



生徒の72%が肯定的な回答をし、昨年度よりも高い割合を占めた。一方、保護者は61%が肯定的な回答であったが、37%が「そう思わない」という回答となっており、その割合は昨年度よりも高くなっている。保護者の子供への期待の現れとも見てとれる。

(4) 生徒「地域に貢献している。」保護者・地域「子供（折中生）は、地域に貢献している。」

肯定的な回答は、生徒が54%、保護者が46%、地域が60%となり、昨年度よりも下回った評価となった。新型コロナウイルス感染症の影響で、例年実施されている市民センター祭り等の行事が中止となり、保護者や地域の方々と関わる機会が減ったことが主な背景として挙げられる。

